

第18期事業計画書

(2024年10月～2025年9月)

一般社団法人JEAN

海洋ごみ問題の解決にむけて以下の活動を行う。

1. 啓発活動

(1) 年間クリーンアップキャンペーンの展開

海洋などのごみの実態把握を兼ねた海洋ごみ問題の啓発活動の一環として、ごみの回収及び調査を目的に、『ICC データカードを使った調べるクリーンアップ』を取り入れたキャンペーンを通年で展開し、春と秋に集中キャンペーン期間を設定する。

寄せられた実施予定はウェブサイトで紹介し、結果についてはデータベースに登録・蓄積するとともに、公開可能な情報についてはウェブサイトで公開する。

- ① 春のクリーンアップキャンペーン : 4月～6月
- ② 国際海岸クリーンアップキャンペーン: 9月～10月
- ③ 神奈川県藤沢市鵜沼海岸の会場運営を行う。4月・10月
- ④ データベースの運用
- ⑤ 2024年の結果のレポートを作成し、公表する。

(2) 啓発用展示物の貸出し

写真パネルは、引き続き貸出しを行う。

老朽化で貸出停止中の漂着物のトランク・ミュージアム®は、リニューアルを検討する。

(3) 講演・研修の受託

依頼を受けて行う。

(4) 画像の貸出し

漂着ごみのある海岸・動物の被害の写真などを中心に、画像の有料貸出しを行う。

(5) 資料の販売

以下を継続して販売する。

「海辺のカルテ」「漂着物ワークブック」

映像資料「ゴミ箱になった海」「人工の海」

(6) 資料の配布

啓発用リーフレット、活動紹介リーフレットを必要に応じて配布する。

2. 調査研究

(1) 自主調査

『ICC データカードを使った調べるクリーンアップ』の実施

日本における、海洋などのごみの実態を把握するために、通年で ICC データカードを使った調査への参加を呼びかける。寄せられた結果はデータベースに登録、基礎データとして継続的に蓄積する。

期 間:2024 年 10 月～12 月、2025 年 1 月～9 月

9 月・10 月分の調査データについては、ICC の主宰者であるアメリカのオーシャン・コンサーバンシーに共有する。

(2) 他調査への協力

関係機関等からの調査研究への協力要請に対しては、可能な範囲内で対応する。

3. 国際協力

国際活動への参加と知見共有

- ① 日本における「International Coastal Cleanup (ICC) / 日本語名: 国際海岸クリーンアップ」の主催と ICC データのオーシャン・コンサーバンシー (アメリカ) への共有
- ② 関係各国の ICC コーディネーターなどとの協力と情報交換

4. 情報の収集及び発信

(1) ウェブサイトの運営

全国のクリーンアップ情報、海洋ごみ問題関連情報を中心にウェブサイトの運営を行う。

(2) 公式フェイスブックページと、海洋ごみの関連情報のフェイスブックページ「海ごみプラットフォーム JAPAN」の運営を行う。

(3) 各種照会等への対応

マスメディアをはじめとした各種照会に対応する。

(4) 機関紙「美しい海をこどもたちへ」の編集・発行 不定期刊行

(5) 海ごみサミットの開催

第 15 回の開催を検討する。

(6) 海ごみプラットフォーム・JAPAN の開催

現在休会中。必要に応じて開催を検討する。

5. 政策への提案

海洋ごみ問題の対策を推進するため、理解促進を含めた政策への提案を行う。

6. その他

- (1) 専門会議、委員会への参画
- (2) 受託事業・助成活動の実施
- (3) 他団体等との連携協力
- (4) 活動資金の調達

以上